



平成30年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 不二越
 コード番号 6474 URL <http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 薄田 賢二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 坂本 淳 TEL 03-5568-5210
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年11月期第2四半期の連結業績（平成29年12月1日～平成30年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年11月期第2四半期	124,638	8.9	8,115	5.1	7,072	4.1	4,494	△3.3
29年11月期第2四半期	114,485	7.8	7,723	19.8	6,793	55.9	4,647	71.8

(注) 包括利益 30年11月期第2四半期 2,214百万円(△63.3%) 29年11月期第2四半期 6,028百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年11月期第2四半期	180.87	—
29年11月期第2四半期	187.02	—

(注) 平成30年6月1日付で、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年11月期第2四半期	297,702	119,054	37.7	4,522.21
29年11月期	299,155	119,399	37.7	4,543.01

(参考) 自己資本 30年11月期第2四半期 112,378百万円 29年11月期 112,899百万円

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年11月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年11月期	—	0.00	—	—	—
30年11月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

平成30年11月期(予想)の「1株当たり期末配当金」および「1株当たり年間配当金」については、株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年11月期の連結業績予想（平成29年12月1日～平成30年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	5.3	18,000	11.6	16,500	12.3	11,000	12.8	442.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成30年11月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」については、株式併合の影響を考慮していません。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年11月期2Q	24,919,343株	29年11月期	24,919,343株
② 期末自己株式数	30年11月期2Q	68,903株	29年11月期	68,177株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年11月期2Q	24,850,854株	29年11月期2Q	24,852,524株

(注) 前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数(自己株式を含む)」、「期末自己株式数」および「期中平均株式数(四半期累計)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想につきましては発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、(添付資料)2ページ「今後の見通し」をご参照ください。

(株式併合後の配当および連結業績予想について)

当社は、平成30年2月21日開催の定時株主総会において、株式併合および単元株式数の変更を含む定款一部変更が承認可決されたことにより、平成30年6月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行い、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年11月期の配当予想および連結業績予想は以下の通りであります。

1. 平成30年11月期の配当予想
 - 1株当たり配当金 期末 10円00銭(注1)
2. 平成30年11月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益 通期 44円26銭

(注1) 平成30年11月期の1株当たり年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 今後の見通し	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年12月1日～平成30年5月31日)の当社グループをとり巻く環境は、欧米を中心とした先進国経済の堅調な推移に加え、新興国経済の持ち直しにより、総じて緩やかに回復いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、ロボット事業を核に、工具、工作機械、ベアリング、油圧機器、そして特殊鋼事業をあわせ持つ総合機械メーカーとしての特長を活かし、海外の現地ユーザーを中心とした新規開拓や、新商品の投入などによる売上拡大にとり組んでまいりました。また、内製化や生産性の向上をはじめとしたコストダウンに努めるとともに、将来の事業拡大に向けて、開発・営業・生産体制を拡充してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、1,246億38百万円(前年同期比8.9%増)、このうち、国内向けの売上高は635億25百万円(同11.2%増)、海外売上高は611億12百万円(同6.5%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は81億15百万円(同5.1%増)、経常利益は70億72百万円(同4.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は44億94百万円(同3.3%減)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

- ①機械工具事業につきましては、自動車・産業機械分野で切削工具やロボットの需要をとり込み、売上高は427億52百万円(前年同期比1.5%増)となりました。一方、利益面では、原材料価格の高騰に加え、開発・営業・生産体制の拡充に向けた固定費・販管費の増により、営業利益は28億84百万円(同9.3%減)となりました。
- ②部品事業につきましては、自動車生産が堅調に推移したことに加え、産業機械・建設機械分野の需要が拡大し、売上高は731億93百万円(前年同期比12.0%増)、営業利益は43億73百万円(同6.2%増)となりました。
- ③その他の事業につきましては、特殊鋼の需要持ち直しにより、売上高は86億91百万円(前年同期比24.6%増)、営業利益は8億18百万円(同2倍)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、2,977億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億52百万円減少しました。主として、未収消費税等が16億54百万円、有形固定資産が12億77百万円、投資有価証券が17億82百万円減少し、現金及び預金が6億14百万円、受取手形及び売掛金が16億49百万円、たな卸資産が13億27百万円増加しております。

負債合計は、1,786億48百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億7百万円減少しました。主として、支払手形及び買掛金が6億56百万円、未払金が32億79百万円、未払法人税等が14億3百万円、繰延税金負債が4億66百万円減少し、借入金が48億26百万円増加しております。

純資産合計は、1,190億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億45百万円減少しました。主として、その他有価証券評価差額金が12億47百万円、為替換算調整勘定が14億9百万円減少し、利益剰余金が20億9百万円増加しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は78億21百万円(前年同期比63億54百万円減)となりました。これは、主として売上債権の増加22億24百万円、たな卸資産の増加21億15百万円、法人税等の支払額30億34百万円などにより資金が減少し、税金等調整前四半期純利益65億6百万円、減価償却費77億91百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

投資活動により使用した資金は91億29百万円(前年同期比15億22百万円減)となりました。これは、主として有形固定資産の取得による支出であります。

財務活動により獲得した資金は24億61百万円(前年同期に使用した資金は44億2百万円)となりました。これは、主として借入金の純増額51億70百万円により資金が増加し、配当金の支払24億85百万円により資金が減少したことによるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の資金の残高は234億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億89百万円の増加となりました。

(3) 今後の見通し

平成30年11月期の通期の連結業績予想については、平成30年1月11日発表の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,436	24,050
受取手形及び売掛金	53,561	55,211
商品及び製品	23,142	23,100
仕掛品	12,586	13,803
原材料及び貯蔵品	16,196	16,349
その他	10,429	8,488
貸倒引当金	△43	△42
流動資産合計	139,308	140,959
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,598	30,607
機械装置及び運搬具(純額)	64,177	64,363
その他(純額)	19,091	18,619
有形固定資産合計	114,867	113,589
無形固定資産	2,654	2,536
投資その他の資産		
投資有価証券	29,362	27,579
退職給付に係る資産	8,307	8,306
その他	4,662	4,738
貸倒引当金	△8	△7
投資その他の資産合計	42,324	40,616
固定資産合計	159,846	156,742
資産合計	299,155	297,702
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,105	47,449
短期借入金	6,890	14,816
1年内返済予定の長期借入金	22,643	22,477
未払法人税等	3,691	2,287
その他	17,752	15,362
流動負債合計	99,083	102,394
固定負債		
長期借入金	53,925	50,992
役員退職慰労引当金	31	14
退職給付に係る負債	10,866	10,845
その他	15,847	14,400
固定負債合計	80,671	76,253
負債合計	179,755	178,648

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,074	16,074
資本剰余金	11,137	11,137
利益剰余金	75,824	77,834
自己株式	△251	△256
株主資本合計	102,785	104,790
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,787	12,539
為替換算調整勘定	△3,225	△4,634
退職給付に係る調整累計額	△447	△315
その他の包括利益累計額合計	10,113	7,588
非支配株主持分	6,500	6,675
純資産合計	119,399	119,054
負債純資産合計	299,155	297,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
売上高	114,485	124,638
売上原価	87,577	95,529
売上総利益	26,907	29,108
販売費及び一般管理費	19,184	20,993
営業利益	7,723	8,115
営業外収益		
受取利息	33	38
受取配当金	257	286
持分法による投資利益	4	18
その他	216	461
営業外収益合計	510	805
営業外費用		
支払利息	462	570
売上割引	264	274
為替差損	156	606
その他	557	396
営業外費用合計	1,440	1,848
経常利益	6,793	7,072
特別利益		
固定資産売却益	5	11
特別利益合計	5	11
特別損失		
固定資産売却損	6	—
固定資産除却損	18	19
独占禁止法等関連損失	553	558
特別損失合計	578	577
税金等調整前四半期純利益	6,220	6,506
法人税、住民税及び事業税	1,944	1,789
法人税等調整額	△591	△32
法人税等合計	1,352	1,756
四半期純利益	4,867	4,749
非支配株主に帰属する四半期純利益	219	254
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,647	4,494

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)
四半期純利益	4,867	4,749
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	679	△1,264
為替換算調整勘定	458	△1,408
退職給付に係る調整額	94	131
持分法適用会社に対する持分相当額	△70	6
その他の包括利益合計	1,161	△2,534
四半期包括利益	6,028	2,214
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,811	1,969
非支配株主に係る四半期包括利益	217	244

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,220	6,506
減価償却費	7,218	7,791
のれん償却額	—	57
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	293	340
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△2	1
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3	△17
受取利息及び受取配当金	△290	△324
支払利息	462	570
持分法による投資損益(△は益)	△4	△18
有形固定資産売却損益(△は益)	1	△11
有形固定資産除却損	18	19
売上債権の増減額(△は増加)	△1,996	△2,224
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,073	△2,115
仕入債務の増減額(△は減少)	2,308	△8
その他	1,890	583
小計	14,041	11,151
利息及び配当金の受取額	314	331
利息の支払額	△442	△631
法人税等の支払額	△1,296	△3,034
法人税等の還付額	1,559	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,175	7,821
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,282	△9,324
有形固定資産の売却による収入	30	47
投資有価証券の取得による支出	△23	△22
貸付けによる支出	△1	△3
貸付金の回収による収入	5	2
その他	△382	170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,652	△9,129

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年12月1日 至 平成30年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,730	8,037
長期借入れによる収入	16,065	9,055
長期借入金の返済による支出	△11,633	△11,921
リース債務の返済による支出	△362	△204
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△7	△5
配当金の支払額	△2,485	△2,485
非支配株主への配当金の支払額	△18	△15
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△231	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,402	2,461
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67	△263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△946	889
現金及び現金同等物の期首残高	20,093	22,537
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,146	23,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,130	65,378	6,976	114,485	—	114,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,042	480	2,821	4,344	(4,344)	—
計	43,172	65,858	9,798	118,830	(4,344)	114,485
セグメント利益	3,180	4,117	388	7,685	37	7,723

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年12月1日 至平成30年5月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	機械工具	部品	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,752	73,193	8,691	124,638	—	124,638
セグメント間の内部売上高 又は振替高	831	337	3,053	4,223	(4,223)	—
計	43,584	73,531	11,745	128,861	(4,223)	124,638
セグメント利益	2,884	4,373	818	8,076	38	8,115

(注)1. セグメント利益の調整額は、主としてセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。